さんにち NIE ワークシート

山梨日日新聞

年　　組　名前：

ユーチューバーが丹波山の良さ発信

Kさん動画投稿 特産開発も

ぐないん
赤池 悠、森 航平、高橋 咲良（富士北麓）
武田 寛明（大月・上野原）森 航平（都留）

動画を投稿するYouTuber（ユーチューバー）として活動するKさん（36）が、丹波山村内の民家でDIYに取り組む様子や、村内のイベントなどを発信している。Kさんの父や祖父は同村出身で、子どもの頃から村を訪れていたといい、「お世話になった村の良さを広めたい」として始めた。Kさんは村の魅力をPRするふるさと大使にも任命され、「動画配信だけでなく、特産品の開発にも取り組みたい」と意気込む。〈武田寛明〉

Kさんは登録者21万人のユーチューブチャンネル「オネガイシマス海賊団!!!」のメンバーとして、人気漫画「ONE PIECE」の内容を考察するなどの活動を展開している。Kさんは祖父や父が村出身だったことから、小学生の時の夏休みに村を訪れて釣りなどを体験。ユーチューバーの活動を始めてからも村を訪れ、バーベキューの様子などを投稿してきた。

昨年10月からは「村を知ってもらいながら、お世話になったことへの感謝を伝えたい」として、村に関する本格的な動画投稿を開始。父親の実家をDIYで改修したり、庭に自作したピザ窯を作ったりする様子を収録、投稿した。最近は週に1度ほど村を訪れ、バーベキューの様子を投稿している。動画を見た人から「実際に村を訪れました」とコメントがあり、Kさんは「反応はたくさんある」と言う。

村内で開かれた祭りや魚釣りなどのイベントや、自身が養蜂家とともに作業を体験する様子も配信。村民との交流も始まり、村の水を活用した化粧品の製造を検討しているという。Kさんは「多摩川の水源になっている地域で、良い水を生かして何かできないか考えている」と話す。

Kさんは動画内で「K村長」と名乗り、6月に配信した動画では〝本物〟の木下喜人村長と対談。これが契機となり、6月19日に村ふるさと大使に任命された。村役場で同日行われた委嘱式では、木下村長が「大使として村の魅力を一層幅広く発信してほしい」と依頼。委嘱式のシーンの動画も撮影し、Kさんは「自然のすごさを伝えていきたい」と抱負を語った。

木下喜人村長から村ふるさと大使の委嘱状を受け取るKさん（右）　＝丹波山村役場

（2025 年 7 月 31 日付 山梨日日新聞 15 面）

問1 ユーチューバーのKさんが、丹波山村をＰＲする動画の発信を始めた理由を答えてください。

問2 Kさんは、村民との交流も始まり、今後、なにを製造することを検討していますか。

問3 Kさんは、丹波山村の様々な様子を発信しています。あなたがユーチューバーなら、どこのなにを発信したいですか。

教育目的以外の無断転載 複製および頒布は禁止します
Copyright © 2025 山梨日日新聞社 THE YAMANASHI NICHINICHI SHIMBUN.